

令和7年度 学校関係者評価

1 学校教育目標

旭市立飯岡小学校

「自ら学び 自分らしく 夢をもって未来をたくましく生きる児童の育成」

学校運営協議会委員  
香取 弘之 様  
磯野美智子 様  
神原 正見 様  
佐久間和人 様  
大木 沙織 様  
平野 恵里 様  
石毛 庄市 様  
嶋田 晶義 様

2 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

学校による自己評価の評価基準 :A(満足できる:肯定的評価90%以上) B(ほぼ満足できる:肯定的評価70~89%)  
C(やや努力が必要である:肯定的評価50~69%) D(努力が必要である:49%以下)

学校関係者評価の評価基準 :A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

※評価項目の赤字は、本年度改定

| 分野・領域                                 | 評価項目   | 評価の指標(%)  |       |       | 自己評価 | 学校関係者評価  |               |
|---------------------------------------|--|---|-------|-------|------|----------|---------------|
|                                       |  | R7  | R6    | 増減率   |      | 自己評価の適切さ | 学校の取組や改善点の適切さ |
| 学校運営<br>教育課程                          | 児 あなたは、毎日楽しく学校に行っていますか。  | 94.5  | 94.3  | 0.2   | A    | A        | A             |
|                                       | 保 お子さんは毎日楽しく学校に登校している。   | 90.2  | 92.2  | -2.0  | A    |          |               |
|                                       | 職 児童は毎日楽しく登校している。  | 92.3  | 100   | -7.7  | A    |          |               |
|                                       | 保 学校は、楽しく意義のある行事や体験学習を実施している。  | 97.8  | 95.1  | 2.7   | A    |          |               |
|                                       | 職 学校は、楽しく意義のある行事や体験学習を実施している。  | 83.3  | 100   | -16.7 | B    |          |               |
|                                       | 保 学校は、保護者やPTA、学校運営協議会(HP参照)等による地域の意見を参考にし、学校運営や教育活動を行っている。   | 92.4  | 96.1  | -3.7  | A    |          |               |
|                                       | 職 学校は、保護者や地域(令和5年度より学校運営協議会を設置)の意見を参考にし、学校運営や教育活動を行っている。   | 83.3  | 100   | -16.7 | B    |          |               |
|                                       | 保 学校の教職員は、「働き方改革(業務改善や教育活動の見直し、ICTによる校務効率化など)」を行うなどして時間を作り、子どもと向き合う時間(学習や生活面でのサポートやコミュニケーション、保護者との情報共有など)の確保に努めている。  | 93.5  | 87.4  | 6.1   | A    |          |               |
|                                       | 職 学校の教職員は、「働き方改革(業務改善や教育活動の見直し、ICTによる校務効率化など)」を行うなどして時間を作り、子どもと向き合う時間(学習や生活面でのサポートやコミュニケーション、保護者との情報共有など)の確保に努めている。  | 100   | 100   | 0.0   | A    |          |               |
|                                       | アンケートの考察<br>今年度の取組及び改善点  | <p>今年度は重点的に、学校運営協議会と地域協働活動の一体的推進により、地域住民や保護者が学校運営に参画し、チームとして児童を育てる体制を強化してきました。学校運営協議会との協働では、飯岡地区社会福祉協議会や学区内の幼稚園との連携をさらに強め、また、コーディネーターによる学校支援ボランティアへの効率よい接続をはじめ、新たな地域交流活動と外部人材活用による人的・物的資源のネットワークがさらに広がった年でもありました。特色ある教育課程の実践では、特に防災教育において、トリプルAIプロジェクトや市防災資料館職員などの外部人材活用で充実したプログラムを組み、高台避難訓練などは、本校の特色ある活動に位置づけています。保護者・教職員へR6に設けた質問で、「学校は、楽しく意義のある行事や体験学習を実施している」を設定し、保護者の肯定的評価97.8%とさらに上昇しており、自校の取組への自信につながり、学校生活が充実しているという肯定評価を受けました。</p> <p>さらに、ふるさと教育とキャリア教育の推進を重点的取組として位置づけ、地域の企業、自然、人材など教育資源を最大限に活用した出前授業や体験学習を通して、本物に触れたこと、特に飯岡小学校自慢である海洋体験学習は、ふるさとの良さを感じるとともに海に関わる職業観を広げることができました。また、11月には旭市沖縄交流事業として、本校を会場に中城村内の3小学校児童18名の交流団を迎え、交流を通して互いのふるさとを学び、飯小全校でおもてなしをする歓迎交流会を実施することができ、こうした行事等や特色ある教育活動の実現が、肯定評価につながっていると思われます。このようなことから、児童アンケートでは、「毎日楽しく学校に行っていますか」の回答では、児童は、肯定的回答94.5%と、保護者回答の90.2%と昨年同様に高い肯定回答を得られ、満足度は達成できたと考えます。また、学校の喫緊の課題となっている働き方改革への理解をいただくよう昨年に引き続き進めてきました。学校の働き方改革により、教職員が、児童と関わる時間を確保できるように努めております。学校の働き方改革により、担任が子どもと向き合う時間を増やすように進めている点も昨年からさらに93.5%と向上し、保護者理解も進んでいると考えます。</p> |       |       |      |          |               |
| 学校関係者による<br>意見等                       | <p>・学校運営協議会と地域協働活動の一体的推進ということで、非常によく協力されていると思った。<br/>・(質疑)アンケートでは、児童は毎日楽しく学校に行っていると言う回答が多く良かった。ただ、学区の中学校の学校運営協議会に出た際に、不登校の話題が出たので、飯岡小の現在ではどうか。<br/>(回答)中学校での不登校は、そもそも小学校から不登校傾向の場合が多いのも理由としてある。一人一人について、様々な要因で違うが、小学校から、または中学校で学習内容が難しくなることに、勉強についていけないと学校が楽しくないといった登校渋りになる場合や、友達関係ももちろんある。現在は、飯岡小もおかげさまで不登校の子がかなり少なくなっているが、今までは中学校区の大きな課題でもあったところである。</p>   |   |       |       |      |          |               |
| 分野・領域                                 | 評価項目   | 評価の指標(%)  |       |       | 自己評価 | 学校関係者評価  |               |
|                                       |  | R7  | R6    | 増減率   |      | 自己評価の適切さ | 学校の取組や改善点の適切さ |
| 学習指導<br>家庭学習                          | 児 先生の授業は楽しくて分かりやすいですか。   | 92.5  | 96.9  | -4.4  | A    | B        | B             |
|                                       | 保 お子さんは、授業が「楽しい、またはおもしろい」と言っている。   | 78.3  | 81.6  | -3.3  | B    |          |               |
|                                       | 職 児童は、授業が「楽しい、またはおもしろい」と感じている。   | 83.8  | 92.3  | -8.5  | B    |          |               |
|                                       | 保 お子さんは、授業がわかり、学習内容が定着している。  | 73.9  | /     | /     | B    |          |               |
|                                       | 職 児童は、授業がわかり、学習内容を身につけている。   | 66.7  | /     | /     | C    |          |               |
|                                       | 保 宿題が終わったかを確認したり、学校で学習したテストやプリント等を見たりして、お子さんの学習状況を把握している。  | 84.8  | 84.5  | 0.3   | B    |          |               |
|                                       | 職 児童の学習状況を把握し、指導に生かしている。   | 100   | /     | /     | A    |          |               |
|                                       | 保 あなたは、宿題や自主学習にしっかりと取り組んでいますか。   | 80.8  | 69.2  | 11.6  | B    |          |               |
|                                       | 職 お子さんは、宿題や自主学習、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。(飯岡小の家庭学習の目安は、学年×10分+10分です。)   | 56.5  | 63.1  | -6.6  | C    |          |               |
|                                       | 保 学校は、宿題や自主学習、家庭学習にしっかりと取り組ませている。  | 92.3  | /     | /     | A    |          |               |
| 児 あなたは、タブレットを授業で使うことが出来ていますか。         | 89.7   | /   | /     | B     |      |          |               |
| 職 児童は、タブレットを授業で活用することが出来ている。          | 100  | /   | /     | A     |      |          |               |
| 保 ICTを活用して授業に取り組んでいる。                 | 100  | /   | /     | A     |      |          |               |
| 児 あなたは、学校で本を読んでいますか。                  | 68.5   | 59.7  | 8.8   | C     |      |          |               |
| 保 あなたは、自宅で本を読んでいますか。                  | 48.6   | 59.7  | -11.1 | C     |      |          |               |
| 職 お子さんは、家庭で読書に取り組んでいる。                | 43.5   | /   | /     | C     |      |          |               |
| アンケートの考察<br>今年度の取組及び改善点               | <p>確かな学力の育成のため、今年度から「文章を正確に理解できる力」の向上へ、朝学習の時間を全校共通の取組として、毎木曜日に各学年で音読集を用い、音読や視写を行ってきました。音読では、全員での一斉読みや一文交代読みなどで、児童が楽しんで取り組める音読の工夫を試みしています。そして、各授業でも、教科書、学習問題やまとめの音読を意識するとともに、読書推進では、週2回全校読書を設け、家庭読書への啓発も行ってきました。このような中、児童の「先生の授業は楽しくて分かりやすいですか」は肯定回答92.5%(昨年比-4.4)とやや下がったものの、R6が大幅に向上した数値であるのと第1点と考えます。授業における児童及び教師のICT・タブレットの活用率は100%となり、ICT活用が学校教育に浸透し、積極的に取り組んでいます。かたや、学習指導に関する保護者回答は、肯定的評価が昨年度と同様に、80%には及ばなかった点は、親子で認識の違いが大きいことが課題として残っています。保護者や児童の評価との隔たりについては謙虚に受け止め、今後も授業力向上に努めてまいりたいと思います。</p> <p>宿題や自主学習等、家庭学習の習慣化と読書時間については、昨年度に引き続き、大きな課題となっております。家庭学習の進め方については、学校から具体的にやり方を提示し、強化週間を設定したものの、まだ家庭での定着が十分でないことが親子での回答からもわかります。これについても、学校全体で取組を続け、各学年の発達段階に応じた向上策と家庭への啓発を続けていきたいと思います。また、昨年度から、全校読書を週2日と増やし、読み聞かせの時間を確保し、学校図書と連携してより一層の読書活動の充実を図るよう進めてきたものの、数値が伸び悩む理由には、特に家庭での読書の習慣化の低迷や動画視聴の広がり、スマホやSNSの多様化があると考えます。「読書の楽しみ」をさらに広げ、読解力向上につながるよう引き続き、校内読書活動と家庭読書を連動させていきます。</p>  |   |       |       |      |          |               |
| 学校関係者による<br>意見等                       | <p>・わが子も、本を読むという習慣があまりにもなさすぎる。引き続き、学校の方で本を読む機会を多く取っていただけたら幸いです。家だと、だいぶ好きなことをやれる誘惑(遊び、テレビ、マンガ、ゲームやインターネットなど)が多い。本を読むとしても、ちょっと誘惑に負けてしまう。引き続き、本を読むという機会を作ってもらいたい。それがきっかけで、本を好きになり、家でも読むことになると思う。<br/>・(質疑)家庭学習に対して、宿題という形で出した時に、飯岡小はタブレット持ち帰りでのやり方と、あとペーパーでのやり方とパーセンテージにはどのぐらいの率でか。タブレットで宿題もいいが、紙の方が親も一緒に見れるし、軽い。タブレットは重い。壊さないかと気を付けなければならない。だから紙の方がよいのではないと思う。先生方は準備がたいへんかもしれないがどうか。<br/>(学校回答)飯岡小では、全体的にはタブレットの持ち帰りは少ない。夏休みなどの夏季・冬季休業期間には持ち帰らせるが、ふだんはあまりタブレットを持ち帰っていない。確かに紙ベースの方がよいこともある。最近ニュースで見たのだが、海外の研究によれば、やはりペーパーの方が効果が高いと出ている研究もある。委員がおっしゃるように、タブレットは、基本的には平日は持ち帰ってないので、タブレットのせいで学力が低下しているとか、家庭学習をやれてないとか、そういうのとは全く影響はない。<br/>・宿題や自主学習についてしっかりと取り組んでいるかという点で、だいぶ保護者の肯定回答率が低いということだったが、一方、児童の数値は80.8%、教職員で92.3%と高い。保護者の肯定が低い回答理由は、親の立場で子どもにはしっかり(家庭学習の目安は時間分)やってほしいという期待値が高いのではないと思う。結局、先生が宿題の正解率や提出率を見た方がよいのではないかという気がする。教職員の92.3%は、提出などの取組の結果を見て回答しているという気もする。なので、保護者の数値が低いのは、あまり気にしないでよいというイメージをもっている。<br/>・(その他のことで)「書く」ことについての児童の意識はどうか。小学校でどのくらい字を書くことがあるのかなという関連の質問項目は全然載ってなかったんで、その辺を気にしていただけとよい。(委員の)私もパソコン入力になってしまえば、文章を書くということや自分の字で書くということがほとんどなくなってしまい、漢字が書けなくなってきている。文章も1回書いて、結局校正までパソコンですぐできてしまうものだから、あまり考えずに文章を書いてしまうという癖がついてしまっている。作文などを取り入れていただけたらとありがたい。</p> |   |       |       |      |          |               |
| 分野・領域                                 | 評価項目   | 評価の指標(%)  |       |       | 自己評価 | 学校関係者評価  |               |
|                                       |  | R7  | R6    | 増減率   |      | 自己評価の適切さ | 学校の取組や改善点の適切さ |
| 生徒指導                                  | 児 先生は、分からないことや困っていることがあるとき、相談しやすい、話しやすいですか。  | 88.4  | 82.4  | 6.0   | B    | B        | A             |
|                                       | 保 お子さんは、わからないことや困っていることについて、先生や学校に相談することができている。(生活アンケート、なんでもアンケート含む)   | 80.4  | 73.8  | 6.6   | B    |          |               |
|                                       | 職 児童がわからないことや困っていることについて、相談ののったり、話を聞いたりしている。(生活アンケート、なんでもアンケート含む)  | 100   | 100   | 0.0   | A    |          |               |
|                                       | 保 先生は、あなたのおよところは認め、ほめてくれますか。   | 94.5  | 95.6  | -1.1  | A    |          |               |
|                                       | 職 学校は、児童のおよところは認め・伸ばし、正すべき行動に対しては真剣に対応している。  | 93.5  | 92.2  | 1.3   | A    |          |               |
|                                       | 保 児童のおよところは認め・伸ばし、正すべき行動に対しては真剣に対応している。  | 66.7  | 100   | -33.3 | C    |          |               |
|                                       | 職 お子さんや学校の様子や出来事などについてよく話している。   | 91.3  | 87.4  | 3.9   | A    |          |               |
| 保 お子さんの様子が、いつもと違うときは、学校と連絡をとるようにしている。 | 78.3   | 75.7  | 2.6   | B     |      |          |               |
| 職 児童の様子が、いつもと違うときは、保護者と連絡をとるようにしている。  | 92.3   | 100   | -7.7  | A     |      |          |               |
| アンケートの考察<br>今年度の取組及び改善点               | <p>児童のSOSに気付き、児童の心情に寄り添った相談体制を構築できるように努めているところ。そんな中、「先生は、分からないことや困っていることがあるとき、相談しやすい、話しやすいですか。」が昨年よりさらに88.4%と満足度が上がり、話しやすい人間関係作りができており、相談体制が児童にも浸透してきています。また、児童回答の「先生は、あなたのおよところは認め、ほめてくれますか。」は94.5%と昨年に引き続き肯定評価が高い点は、児童が自分の役割に責任をもって果たしたり、仲間と協力して進めたりする姿を教師が賞賛しながら、自発的、自治的活動を通して、自己肯定感を高める指導に努めているためと推察できます。教職員の肯定評価がR6から下がっているのは、教職員は毎年入れ替わるため、中には自分自身に厳しく、「あまりあてはまらない」と謙遜した否定的回答が数多いことで数値が下がっていますが、一方で、保護者はしっかりと本校の教職員を93.5%と肯定評価をしてくれています。実際のところ、本校教職員は、児童がわからないことや困っていることについて、時間を確保して、相談ののったり、話を聞いたりするようにしているだけに、そのためにも、学校の働き方改革により、担任が子どもと向き合う時間を増やすように進めているところ。そして、担任と学習サポーターや教諭補助員、スクールカウンセラー等、児童と関わるすべての教職員が児童についての気付きを共有し、対応できるようチーム飯岡小で努めていきます。</p>   |   |       |       |      |          |               |
| 学校関係者による<br>意見等                       | <p>・(質疑)心のポストには、児童の相談は入ってますか。学校の説明でタブレットでも児童の日常の気持ちのアンケート取るような形があると聞いた。ポストへの投入件数や今日の気持ちの確認について、数値的どのくらいか。<br/>(回答)毎朝ポストを見ているのだが、本校は全然入らない。それでは別の手段ということで、毎月の「何でもアンケート」で、児童が書いてきたことは面談したり、お話を聞いたりもする。タブレットも、長期休業明けに使用して心の状態を確認している。すると、およそ4、5人の子が「楽しくない」とか「今日は気分が優れない」とかマークするので、担任に伝えたり、教頭の方から声をかけてみて何かあったかと尋ねたりし、その日のうちに声をかけるようにしている。数値的には、マークが最低の子は2、3人。ちょっとマイナスな子は、日々4、5人いる感じである。</p>  |   |       |       |      |          |               |

1 学校教育目標

旭市立飯岡小学校

「自ら学び 自分らしく 夢をもって未来をたくましく生きる児童の育成」

学校運営協議会委員
香取 弘之 様
磯野美智子 様
神原 正見 様
佐久間和人 様
大木 沙織 様
平野 恵里 様
石毛 庄市 様
嶋田 晶義 様

2 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

学校による自己評価の評価基準 :A(満足できる:肯定的評価90%以上) B(ほぼ満足できる:肯定的評価70~89%)
C(やや努力が必要である:肯定的評価50~69%) D(努力が必要である:49%以下)

学校関係者評価の評価基準 :A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

Table with columns for '分野・領域', '評価項目', '評価の指標(%)', '自己評価', and '学校関係者評価'. It contains multiple rows of data for '道徳 特別支援教育', 'アンケートの考察', '安全管理', and '保護者・地域との連携'.